

第2章 みんなの“声”

この計画は、こどもや若者、子育て当事者の状況やニーズを的確にとらえ、実効性のあるものにするため、幅広い声を聴き、計画に反映させています。

自分の意見が尊重され、社会に影響を与えて変化をもたらす機会は、自分のありのままを尊重されている感覚や自分が他者に必要とされているという感覚、社会の一員としての主体性を高めることにつながります。

1 みんなの“声”を聴く

令和5年度に実施した「大磯町子ども・子育てニーズ調査」をはじめ、令和6年度には、こどもたちや若者、保護者、関連団体などへ「あったら楽しいと思うこと」や「現在困っていること」、「町のイメージや町に望むこと」など、さまざまな機会を通じて“声”を聴く取組みを行いました。

□令和5年度「大磯町子ども・子育てニーズ調査」

前回（平成30年）実施の調査項目を引継ぎつつ、子育て支援施策などにおける量の確保と見込を把握するための設問やこどもの貧困対策に係る設問に加え、こどもや若者の現状と課題を把握し、効果的な支援策を検討するための調査項目を追加、紙媒体のアンケートに加えてウェブを活用したアンケートを実施しました。

合計 配布数：7,317件、回収数：1,878件、回収率：25.66%

調査対象者	配布数	回収数	回収率
就学前児童の保護者（全件）	1,251件	503件	40.20%
小学生の保護者（全件）	1,513件	602件	39.79%
中学生～大学生相当（抽出）	437件	121件	27.69%
計	3,201件	1,226件	38.30%

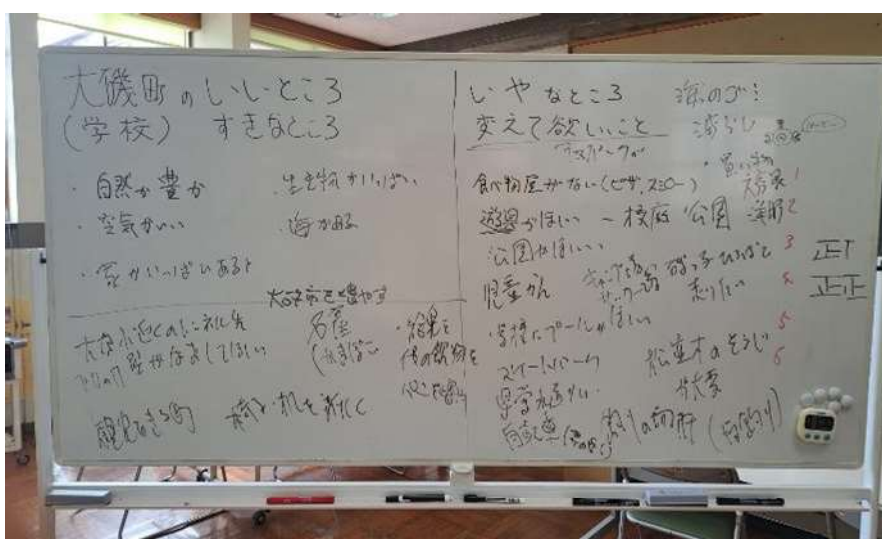
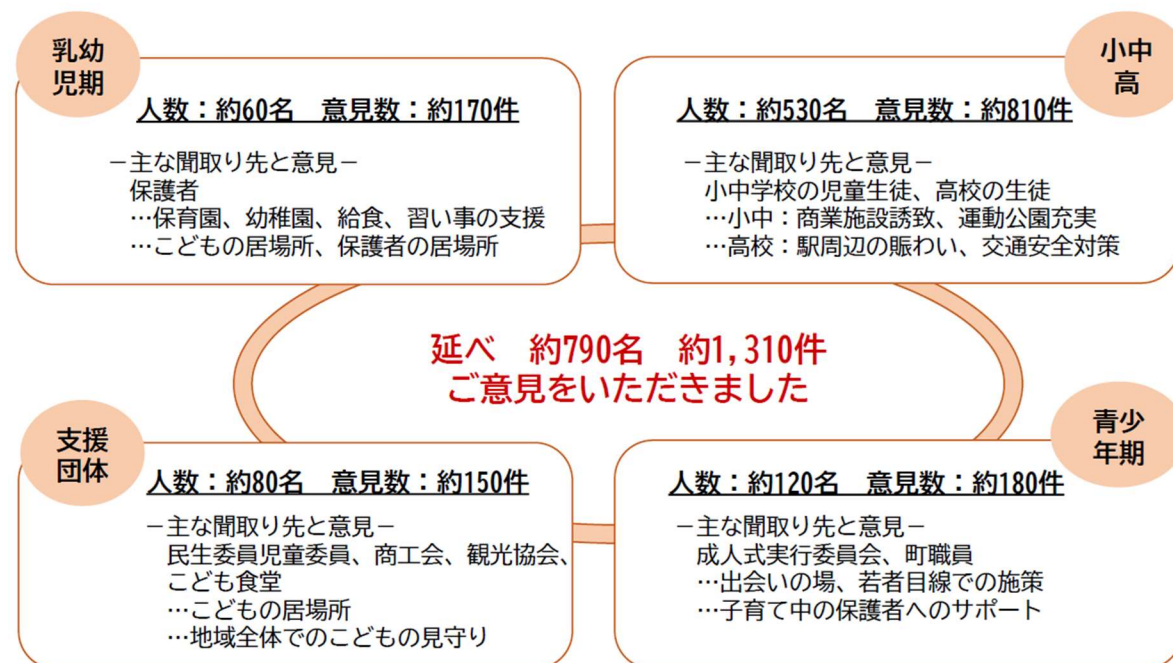
調査対象者	配布数	回収数	回収率
22歳～39歳（全件）	4,116件	652件	15.84%

【主な設問】

- ◇ 家庭の状況、保護者の就労状況
- ◇ 平日、土日や休暇中の定期的な教育・保育事業の利用状況と利用希望
- ◇ 子どもの居場所、不定期の子どもの預かりや宿泊を伴う一時預かり
- ◇ 子どもの障がい、発達の状況
- ◇ 子育て環境や支援の満足度、子育てにかかる費用
- ◇ 自身の状況や悩み事、日常生活や将来のこと など

□令和6年度「こどもたちや若者、保護者、関連団体の“声”を聴く」取組み

職員が現場へ出向き、直接“声”を聴くほか、直接の聞取りが困難な場合（特別な配慮が必要な方など）には、専用の用紙を配布するなど工夫しながら声を聴きました。



“声”を聴く様子

大磯こどもサミット行動宣言

令和6年12月21日大磯プリンスホテルにおいて開催された「大磯こどもサミット」内において、こどもたちから「大磯こどもサミット行動宣言」が発表されました。

自分たちで決めた行動目標を宣言することで、こどもたちの主体性や行動力を育むことを目的に実施したもので、こどもたちが主体的にまちづくりに関わり、よりよい未来を築くための第一歩として具体的な行動目標を示しました。



ワークショップで意見交換

おいそ こうどうせんけん
大磯こどもサミット行動宣言

みらい きらき ひと つづ ことば つづ
未来を切り開き「わくわく」するために、次の行動に努めることを宣言します。

しぜん りき あ る ばしょ を うけ つぎ ぞ う て い き ま す
 自然や歴史ある場所を受け継ぎ守っていきます

ちいき の い べ ん と を う け つ ぎ ぞ う て い き ま す
 地域のイベントを受け継ぎ守っていきます

せき き く て き ん に し ん ん た ち か ら こ え を う げ て い き ま す
 積極的に自分たちから声を上げていきます

れいお ねん がつ じち
 令和6年12月21日
おいそ こどもサミット こどもスタッフ 一同

大磯こどもサミット行動宣言書

<大磯こどもサミット>

町は、明治・近現代期に多くの政財界人が居を構え、日本を、世界をリードした地であることから、こどもたちが国際感覚に触れ、刺激を得る絶好の機会である「万博国際プログラム」と連動した中で、こどもたちのさまざまな「気付き」のきっかけとすることを目的に、楽しく学び、こどもたちが主体的に自身の意見を発信し、「今何をすべきか」をみんなで”考える”場として「大磯こどもサミット」を開催しました。

- 開催日 令和6年12月21日
- 場所 大磯プリンスホテル(バンケットホール)
- 来場者 約500人



大磯こどもサミット行動宣言発表と宣言書の手交



<大磯こどもサミットの様子>



あいさつ（浅尾環境大臣）



あいさつ（池田町長）



ウガンダ共和国の紹介と現状
（トファス・カアハワ駐日ウガンダ共和国大使）



こどもの権利パネル展



キッズダンス



アフリカンファッションショー



パネルディスカッションの様子
（こどもスタッフ、池田町長、トファス・カアハワ駐日ウガンダ共和国大使、ディクソン氏）



会場みんなでアフリカダンス

2 みんなの“声”の反映

この計画では、こどもたちや若者、保護者の皆様からいただいた”声”に基づき、町を取り巻く社会環境の変化や課題を考慮し、「基本理念」と4つの「めざす姿・基本目標」を設定します。

基本理念

こどもたちの未来をひらくまち、こどもまんなか わくわくおおいそ

この計画は、ひとりひとりのこども・若者の主体性と人権を大切にし、こども・若者の最善の利益を尊重する中で、こどもたちが心を弾ませ、わくわくする夢をもって心豊かに成長できるよう、こどもたちや若者、保護者が生きづらさを感じることなく“育つ”こと、町全体で“見守り支える”ことを基本的な視点としています。

皆様からいただいた声では、『こどもたち』には、世代に応じて非日常の学習体験や行事などでの活躍の場など、貴重な経験が得られるわくわくする「機会」の提供が、『若者』には、出会いやコミュニケーションの場など、さまざまな場面において、わくわくする「好機」の創出が、『保護者』には安全・安心はもちろん、こどもを預けられる仕組みやこどもの居場所づくりなどを通じて、自分の趣味や仕事などの自分時間が持てるわくわくする「時」の確保が求められています。

大磯町で生まれ育ったこどもたちや若者が、成長して社会に出て、さまざまな経験を経て、自身が結婚、子育てを希望したときに、“ふるさと大磯”で子育てしたいと願う人が増えるよう、大磯の自然を大切にしながら、居心地の良い生活環境、子育て環境の形成に取り組むことで、こどもまんなかの町づくりを進め、人口減少に歯止めをかけることをめざします。

こども
(当事者)

生きづらさを感じることなく、いかなる状況でも権利や意見が尊重され、多様な経験を通じて豊かな心を育み、自分らしく社会生活を送ることができる町

基本目標 1：こどもの権利を守り、健やかな成長を支える仕組みづくり

こども・若者が権利の主体であることの理解促進に努め、社会参画や意見表明を促す環境を整備します。また、成長段階に応じた体験学習や文化活動など多様な経験をすることで、自己肯定感を高めるなど、こどもの権利を守り、健やかな成長を支える仕組みづくりに取り組みます。

【考え方】

こどもたちや若者からは、自分の考えが尊重され、不安なく充実した生活を送りたいという声が多く寄せられています。

これに応えるためには、こどもが意見を積極的に表明できる機会を創出し、それが反映される仕組みを構築することが必要です。また、こどもの権利を守る観点からも、いじめや不登校、児童虐待など、当事者である子どもが、心身ともに健やかに成長できるよう、安全で安心して過ごせる環境を整えることが重要と考えます。

【こどもたちや若者、保護者からの主な声】

- ・ 学校給食を作ってくれることがうれしい（小学生）
- ・ 大磯産の食べ物で給食を作ってほしい（小学生）
- ・ もっと運動がしたい（小学生・中学生）
- ・ 人間関係や友達関係が不安（中学生）
- ・ クラスで孤立してしまう（中学生）
- ・ いろんな経験や体験がしたい（中学生・高校生・若者）
- ・ 自分たちの意見が言える場や実現できる場があるとよい（高校生）
- ・ こどもひとりひとりの成長をサポートしてほしい（保護者）
- ・ こどもがのびのびできる環境が望ましい（保護者）

**保護者
(家庭)**

保護者が抱えるさまざまな負担が軽減され、仕事と生活の調和が取れた働き方により、誰もが心豊かな時間を持って、安心してこどもを産み、子育てを通じて、生活に喜びを実感できる町

基本目標 2：安心してこどもを産み・育てられる環境づくり

障がいや医療的ケア、不登校、ひとり親家庭、経済的困窮などのさまざまな困難を抱える家庭に対し、ひとりひとりの状況に合わせた多様で継続的な支援体制づくりに取り組みます。

また、保護者の多様な働き方に対応できる保育サービスやこどもを預かる環境の充実・整備など、保護者が主体的に子育てと仕事ができ、安心してこどもを産み・育てられる環境づくりに取り組みます。

【考え方】

保護者からは、仕事と子育ての両立支援や、子育てに関するさまざまな不安への対応を求める声が多く寄せられています。

これに応えるためには、多様なニーズに対応できる子育てサービスの提供、ゆとりある子育て環境の整備、そして妊娠・出産期からの切れ目のない支援体制の構築が不可欠です。

特に、障がいのあるこどもを持つ家庭やひとり親家庭など、支援が必要な状況に応じたきめ細やかな支援体制の整備が重要と考えます。

【こどもたちや若者、保護者からの主な声】

- ・ 家族と仲良く暮らしたい（小学生）
- ・ いつでも預けられる場所があるとリフレッシュできるのでは（高校生）
- ・ 父親も育休が取りやすくなるとよい（高校生）
- ・ 妊娠や出産に対して不安がある（若者）
- ・ ひとり親での生活や子育てに不安がある（若者）
- ・ 仕事との両立、子育てが大変だから自分の時間がほしい（保護者）
- ・ こどもが病気の時でも預かってくれる場所があると助かる（保護者）
- ・ 障がいのあるこどもでも安心して育てられるようにしてほしい（保護者）

子育て環境
(資源)

家庭でのこどもへの適切な関わりや、保育の専門性、教育の多様化を組み合わせた、快適な子育て環境が整い、こどもひとりひとりの成長を支えられる町

基本目標3 子育てに優しい良好な環境づくり

こどもや若者が健やかに育つ環境として重要な「家庭」「保育」「教育」の各場面において、楽しくわくわくするサービスを提供し、多様な子育てニーズに対応できるよう、それぞれの環境の充実を図るとともに、保護者への情報提供を強化し、子育てに優しい良好な環境づくりに取り組みます。

【考え方】

こどもたちからは、学校施設の老朽化への対応や、興味・関心に合った学習機会の提供などが、一方、保護者からは、保育の質の向上や、子育てに関する情報の発信を求める声が寄せられています。

これに応えるためには、こどもたちの個性や発達段階に合わせ、家庭、保育、教育が連携し、質の高い保育・教育環境、多様な学習機会の提供、家庭での子育て支援など、こどもたちが健やかに成長できる環境づくりが重要と考えます。

【こどもたちや若者、保護者からの主な声】

- ・ 小学校に遊具が少ない（小学生）
- ・ 学校施設が古い（小学生・中学生）
- ・ 学校のトイレの衛生環境が悪い（中学生）
- ・ 学校の全室にクーラーがほしい（中学生）
- ・ 塾に行けないので補習してほしい（中学生）
- ・ 集中して勉強できる場所や自習ができる場所がほしい（高校生）
- ・ 学校にいけない子はどこにも居場所がない（保護者）
- ・ 幼稚園、保育所の空き状況がウェブなどでわかるようにしてほしい（保護者）
- ・ 幼稚園・小学校・中学校で連携して、訪問などを増やしてほしい（保護者）
- ・ 保育所や幼稚園でいろんな体験をさせてほしい（保護者）
- ・ 子連れでも行きやすい施設などを紹介してほしい（保護者）
- ・ 子育ての情報がまとまっているホームページや冊子がほしい（保護者）

地域 (まちづくり)

地域全体が子どもや若者、子育て世帯に関心を持ち、その声をしっかりと聴き、子どもたちの地域参加や居場所の充実を通じて、将来を担う子どもたちの笑顔があふれている町

基本目標 4 子ども・若者の育ちを社会全体で支える地域づくり

子どもや若者が、安全で安心して地域で過ごせるよう、地域社会全体で、居場所づくりや交通事故・犯罪防止のための見守り、出会いの場の創出、地域への定住など、子ども・若者の育ちを社会全体で支える地域づくりに取り組みます。

【考え方】

子どもたちや若者からは、出会いや結婚など、将来への不安や、居場所を求める声が多く寄せられています。

また、保護者からは、道路の整備や公園の充実など、子育てしやすい環境づくりへの要望が寄せられています。

これに応えるためには、地域全体で子ども・子育て支援の重要性を共有し、一体となって子どもたちの健やかな成長を支えることが重要と考えます。

【子どもたちや若者、保護者からの主な声】

- ・ 笑顔で挨拶してくれるのがよい（小学生）
- ・ 道路が暗くて危険、不安（小学生・中学生）
- ・ 公園の遊具を充実させてほしい（小学生・中学生）
- ・ 交通の便をよくしてほしい（中学生・高校生）
- ・ 地域で交流できる機会がほしい（中学生・高校生・若者）
- ・ 自然環境がすばらしい（小学生・中学生・高校生）
- ・ 子どもが遊べる場所や施設、子育てが充実していると感じる（高校生）
- ・ 子連れが町に来やすい、住みやすい環境を整えることが重要（高校生）
- ・ 若者が暮らしたいと思える施策が必要（高校生）
- ・ 安心していられる場所がほしい（高校生・若者）
- ・ 出会いがない、結婚や出産に不安がある（若者）

3 施策の体系

みんなの声を基に設定した「基本理念」及び4つの「めざす姿・基本目標」を受けて、施策の体系を構成します。

【基本理念】

こどもたちの未来をひらくまち、こどもまんなかわくわくおいそ



声

【施策】

めざす姿1
こども
(当事者)

基本目標1

こどもの権利を守り、健やかな成長を支える仕組みづくり

- 1 こどもの権利の保障と社会参加の促進
- 2 こども・若者の健全育成
- 3 多様な体験機会の提供
- 4 こどもの成長を支える経済的な支援
- 5 食育の推進

めざす姿2

保護者
(家庭)

基本目標2

安心してこどもを産み・育てられる環境づくり

- 1 妊娠前、妊娠・出産期から子育て期を通じた切れ目ない支援
- 2 こども・子育て相談体制の充実
- 3 児童虐待防止体制の充実
- 4 心配りが必要なこどもや保護者、若者への多様な支援
- 5 保育・預かりサービスの多様化・充実

めざす姿3

子育て環境
(資源)

基本目標3

子育てに優しい良好な環境づくり

- 1 保育・教育環境の整備
- 2 家庭保育・教育への支援
- 3 質の高い保育・教育の提供
- 4 多様な子育ての場の提供と充実
- 5 情報アクセスの向上とICT化の促進
- 6 医療体制の充実

めざす姿4

地域
(まちづくり)

基本目標4

こども・若者の育ちを社会全体で支える地域づくり

- 1 こども・若者の居場所づくり
- 2 青年期以降の新生活支援
- 3 子育て世代に優しい生活環境の整備
- 4 町全体での子育て・孫育て機運の醸成
- 5 世代間交流の推進

む

奮

て

機

関

